



CUPS の S-GW CDR

- [マニュアルの変更履歴](#) (1 ページ)
- [機能説明](#) (1 ページ)

マニュアルの変更履歴



(注) リリース 21.24 よりも前に導入された機能については、詳細な改訂履歴は示していません。

改訂の詳細	リリース
初版	21.24 より前

機能説明

CDR 生成は、Cisco UPC CUPS アーキテクチャの S-GW でサポートされています。

CUPS の CDR は、S-GW の UE ベアラーの課金情報を収集するために生成されます。課金トリガーを受信すると、CUPS のコントロールプレーンノードが対応するユーザプレーンノードから情報をプルし、収集されたボリュームカウントが S-GW CDR に追加されます。

S-GW CDR は、デフォルトベアラーと専用ベアラーの両方でサポートされています。



(注) 現在、S-GW CDR は custom24 ディクショナリでサポートされています。

課金データは、次のトリガーに基づいて収集されます。

- アクセス側トリガー：
 - ULI の変更

- RAT の変更
- 管理者による介入（暫定 CDR はサポートされていません）
- 正常/異常コールの解放

- ネットワーク側のトリガー：
 - QCI の変更
 - APN AMBR の変更

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。